学校番号	T3010

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	インテリア・クラフト実習Ⅰ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	自主教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

クラフト分野：日本の伝統的工芸技術である七宝焼きの知識と技術を習得し、これまでに学んだ基礎技術を活かしながら造形的な創造活動の基礎的・基本的な知識を培う。
使用する材料についての理解や的確な加工技術と表現力の習熟や直感力と立体感覚を身につけ、計画的および発展的なアイデアを開発していく力を育成する。

インテリア分野：快適な生活を送るために必要な家具等の製作を通して、木工作品の加工を学習します。この授業では、製作・加工についての基礎知識を学び、基礎的・基本的な技術、安全に配慮した道具の使い方、目的とする形状に加工する基礎的な技術を習得します。また、塗装などの表面処理について個々のアイデアを表現することで創造力を育みます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・七宝焼に関する基礎的及び応用的な知識と技術を習得する。
・木材加工のおける切断・接合(接着剤および木ねじ)・表面処理の手法、技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
・造形の構成で材料は適正であるか、強度や安全性が確保されているかなどを総合的に判断できる能力、実際に活用できる美的感覚と表現能力を養う。
・製作する過程で、木材の加工やデザイン等の課題を発見し、課題を解決するため思考・判断を行う態度を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・工芸文化に関心を持ち、制作に向けて意欲的に取り組み、根気よく作業を行う態度を身に付ける。
・木材やインテリアのデザインに関心をもち、木材の加工を積極的に行う態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	七宝焼に関する基礎的及び応用的な知識と技術を身につけている。 安全に作業を行う方法を理解している。 木工に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。安全や環境に配慮し、木材の加工を行う技術(ビス打ち・接着)及び電動工具の使用方法を身につけている。	七宝焼に関する技法の課題解決をめざして考えを深め、学んだ技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。 木材加工に関する課題解決をめざして考えを深め、基礎的・基本的な技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。	創造活動の喜びを味わい、工芸文化に関心を持ち、制作に向けて意欲的に取り組み、根気よく作業を行う態度を身に付けている。 木材の加工などの「ものづくり」に関心をもち、作品製作に向けて意欲的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期・二学期中間	七宝の特性・基礎・応用技術	七宝焼の材料とその特性について 七宝焼の応用技術について 仕上げの知識と工具の取り扱い 作品製作	a:七宝焼に関する基礎的・基本的・応用的な知識と技術を身につけている。 安全に作業を行う方法を理解している。 b:七宝焼に関する技法の課題解決をめざして考えを深め、学んだ技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。 c:創造活動の喜びを味わい、工芸文化に関心を持ち、制作に向けて意欲的に取り組み、根気よく作業を行う態度を身に付けている。	提出物 授業態度 課題ノート 振り返りシート	提出物 授業態度 課題ノート 振り返りシート	提出物 授業態度 課題ノート 振り返りシート
二学期後半・三学期	木材加工の基礎技術	製作における安全教育 道具や加工機械･器具の使い方 木材の加工方法 作品製作	ａ：作品のデザインや木材の加工等に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。 安全や環境に配慮して技術を活用している。 ｂ：作品のデザインや木材の加工等に関する課題解決をめざして考えを深めている。 ｃ:作品のデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、課題作品の製作に向けて意欲的に取り組んでいる。	提出作品 授業態度 プリント 振り返りシート	提出作品 授業態度 プリント 振り返りシート	提出作品 授業態度 プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度